

V 日高振興局

1. 水稲奨励品種決定調査現地調査に係る現地検討会を開催

県では、自然的・経済的条件に適し、収量・品質・食味等に優れた水稲品種を奨励品種に定め、普及に努めている。選定にあたっては、県農業試験場及び県内各地域の現地ほ場において奨励品種決定調査を行い、奨励品種審査会を経て決定される。

特に近年は、出穂期以降の高温による品質低下が問題となっており、高温期の登熟性に優れる品種の選定に力を入れている。農業水産振興課では、日高町に現地調査ほ場を設置し、「あきさかり」、「にじのきらめき」、「北陸 271 号」及び「キヌヒカリ（対照品種）」の 4 品種の調査を実施した。

9 月 10 日に「北陸 271 号」と「キヌヒカリ」、9 月 21 日に「あきさかり」、「にじのきらめき」の刈取りを行うとともに、検討会を J A 紀州営農指導員と現地ほ場の生産者、当課普及指導員の 6 名で実施。当課から各品種の生育調査の結果を説明した後、参加者各自が各品種の生育状況を確認し、意見交換を行った。

生産者からは『「にじのきらめき」は短稈で良さそうだ、「北陸 271 号」も今後期待できそう』、J A 営農指導員からは『「にじのきらめき」は収量がありそうだ』、『「にじのきらめき」は株張りが良いな』等の意見が聞かれ、栽培段階では「にじのきらめき」が有望ではないかとの認識で一致した。

今後は品質評価を行い、得られたデータについて審査会に報告するとともに、J A や生産者等と連携しながら、水稲の生産安定に向けた取り組みを行っていく。



水稲生育状況の確認（9 月 10 日）